

様式1 平成26年度 山梨県立甲府城西高等学校学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自己の課題に積極的に取り組み、創造する力と豊かな個性を身につけ、社会に貢献する生徒を育成する。
-----------	---

山梨県立甲府城西高等学校校長 保坂 広光

本年度の重点目標	1 積極的に学ぶ生徒を育てる。
	2 規範意識の向上を図り、社会性を育む。
	3 心身を鍛え、豊かな人間性を育む。
	4 社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる。

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価					
番号	評価項目	本年度の重点目標 具体的方策	年度末評価(2月13日現在)		
			自己評価結果 (生徒・保護者・教師アンケートの結果)	達成度 成果と次年度への課題・改善策	
1	積極的に学ぶ生徒を育成する	①自ら学び、考える力を育成するため、学習指導の工夫・改善に努める。	教員同士の授業見学期間の設定	「理解度に応じた指導の充実」→評価A36%、評価B51% 「指導の工夫改善」→評価A22%、評価B59%	B 教員同士の授業参観の機会を増やし、授業力の向上を図った。学習の習慣が定着する指導を行う。 模試や課外の見直しを行った。その成果を検証し、学習習慣と効果的な学習方法の定着を図る。 今年度から系列体験授業を行い、履修指導の充実を図った。より効果的な取組に改善する。
		②基礎的・基本的な学力を身につけさせ進路実現に結びつける。	実力診断テストの実施、課外の充実	「課外や小論文・面接の個別指導の充実」→評価A40%、評価B51%	
		③体験的な学習を重視し、個性の伸長を図る。	産社・総学における体験的学習の充実	「体験的学習の充実」→評価A29%、評価B54%	
2	規範意識を向上を図り、社会性を育む	①自己を正しく理解し、在り方・生き方について考えさせる取り組みを実践する。	各種講話の実施及び作文指導	「産社や総学の講話の効果」→評価A31%、評価B53%	B 多くの人が概ね達成できていた。生徒の実態に応じた講話を実施する。 あいさつの習慣は身につけてきたが、1~3月頃に遅刻者数が増えた。遅刻指導の徹底を図る。 組織的な頭髪服装の指導ができていた。今後も教員が連携して指導を行う。
		②基本的な生活習慣を確立させる。	遅刻指導、あいさつ運動の充実	「あいさつ習慣の確立」→評価A46%、評価B43% 「時間を守る指導の充実」→評価A42%、評価B48%	
		③集団生活のルールやマナーを身につけさせる。	服装頭髪指導、下校指導の実施	「集団生活のルールやマナーの指導」→評価A39%、評価B51%	
3	心身を鍛え、豊かな人間性を育む	①健康と安全に対する意識を深める取り組みを実践する。	保健講話、生指講話の実施	「健康や命を守る講話の充実」→評価A28%、評価B55% 「防災安全教育の充実」→評価A27%、評価B55%	B 地域の防災訓練に生徒を参加させ、防災意識の向上を図った。安心・安全な生活への意識を高める。 部活動における人間教育によって、学校の活性化が図られている。更なる生徒の意識向上を目指す。
		②部活動を活発にして、豊かな人間性を育む。	本校独自の強化部の設定	「部活動の充実」→評価A57%、評価B37%	
		③総合的な学習やLHRを活用し、個々の進路を意識させる。	年次・学級単位での計画立案	「進路意識を高めるための総学やLHRの効果」→評価A27%、評価B56%	
4	社会の問題を意識し、積極的に関わる態度を育てる	①我が国の文化や伝統に触れ、大切にすることを意識向上させる機会を設定する。	産社・総学における計画立案	「日本の文化や伝統に触れる機会の充実」→評価A24%、評価B53%	B 生徒が進路について主体的に考え、行動できる取組を実施する。 学校教育全体の中で、日本の伝統や文化に触れる機会を増やす。 地域の活動やボランティア活動を通して、社会の一員としての役割と期待を自覚させる。
		②地域社会及び世界の諸問題に目を向けさせる取り組みを実践する。	地域の諸行事への参加	「地域交流への取組」→評価A27%、評価B51%	
		③総合的な学習やLHRを活用し、個々の進路を意識させる。	年次・学級単位での計画立案	「進路意識を高めるための総学やLHRの効果」→評価A27%、評価B56%	

学校関係者評価	
実施日(平成27年2月16日)	
評価	意見・要望等
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 生地達が社会人として自立して生きていくための学力の育成をお願いしたい。 ○ 進路のガイダンスが充実していて、素晴らしい。進学や就職の先に続く人生プランについて考える機会や授業をこれからも実施して欲しい。 ○ アンケート結果の達成度が向上していることから、教員による学習指導の工夫や改善の努力が読み取れる。今後は、更に分かりやすい授業づくりに向け、校内研修の充実や教員間での校務分担の効率化を進めて欲しい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校訪問時に生徒から挨拶をされて好感が持った。また、皆勤賞の生徒が多いことも評価できる。 ○ マナーアップ運動の効果が出ているようで大変喜ばしく思う。生徒の命を守るだけでなく、加害者にさせないためにも交通ルールの遵守に向けた指導に力を入れてほしい。 ○ 挨拶や時間厳守など、社会に必要な基本的な生活習慣やマナーの確立に向けて取り組んで欲しい。
4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教員が部活動や生徒会活動などの多くの領域で継続した指導をしている。その結果として、部活動の活躍などが挙げられる。 ○ 生徒が、興味や特技を生かした学校生活を送ることができるように指導して欲しい。 ○ 命の尊厳や防災に関する学習・指導は喫緊の課題であり、生徒にその意義を考えさせるなど、より効果的な学習内容となるように工夫改善を図って欲しい。
3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 池田地区の文化祭や「ボランティア博」(甲府市)への参加など、多くの活動や活躍を見聞している。結果も重要であるが、取組の過程や努力を評価したい。 ○ 社会人に向けての準備を生徒達に意識させて欲しい。 ○ 日本社会の課題や世界との結びつき、産業社会や経済のしくみ、自身の生活や将来との関連、日本の文化や伝統の理解といった事柄について、高校の学習の中で基本的な理解ができるような指導が必要である。

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。